家 族 会

～ 平成26年8月22日（金）夏祭りの感想 全文（曽我 賢二様）～

歳月人を待たずと申します。考える事が苦手な私が
感じたままに書きます。夏祭りに参加し始めてから随分と年月が
過ぎました。音楽療法を発表する場を提供して頂ける事に対して、我々つどいの広場の会のメンバーは、
今年も本番に向けて練習に励みました。つどいの広場での月一回のみの練習ですから、なかなか
うまく行かず骨を折りました。本番では演奏が万全でなければ努力した甲斐もありません。
私たちは満足のいく出来栄えを見ていただくために、必死で頑張りました。本番ではリズムにも乗れ、
最後まで演奏しきることが出来ました。だが何か変だぞ・・・。その時、突然鼻水がポタリと落ちました。
自分でも驚いたのですが、感動のあまり涙がこぼれていたのです。自然と感情が溢れ出してきた、
予想外の出来事でした。これも、心をこめて歌った結果だと思います。皆さんの前で発表させていただいた
事で、自分まで心が洗われた様に思います。音楽とは素晴らしいものですね。
人と人とのコミュニケーションツールでもあり、エネルギーを与えてくれるものだと痛感しました。
あと、みきやま病院のスタッフの皆さんの歌が上手でびっくりしました。これからも体力が続く限り、
この夏祭りに参加したいと思いました。つどいの広場のメンバーの一員で良かったと心より感謝しています。
ありがとうございました。

～ 平成26年7月25日（金）『家族会』の様子 ～

今回は、当院の神経内科の堤副院長に参加を依頼し、神経難病という病気の詳細をお話して頂きました。
家族会の方からも、病気に対する思いや不安などをお話して頂き、先生に相談や質問等され、
普段の診察時にはない時間と場が持てたのではないかと思います。

平成２７年１月２３日（金）
第４回みきやまさくらねっと・家族会合同勉強会を開催しました

まず、レスパイト入院について紹介をさせていただき、その後ディスカッションを行いました。
地域の事業所の方、患者ご家族様、当院の家族会の方々、当院のスタッフなど、様々な方に参加して頂き
ディスカッションは大変盛り上がり、活発な意見交換ができました。「レスパイト入院」を初めて知った
という方もおり、今後も当院の取り組みを知って頂く為の活動を継続していきたいと思います。